

# 地球温暖化対策実施状況報告書

平成 28 年 7 月 22 日

（報告先）  
横浜市長

住所 〒164-0012  
東京都中野区本町1-32-2  
氏名 東京レンタル株式会社  
代表取締役 上北徹男

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	東京レンタル株式会社 代表取締役 上北徹男				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー21階				
主たる事業の業種	大分類	K 不動産業、物品賃貸業			
	中分類	70 物品賃貸業			
該当する 事業者の要件	<input type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量		kl	自動車の台数	201 台

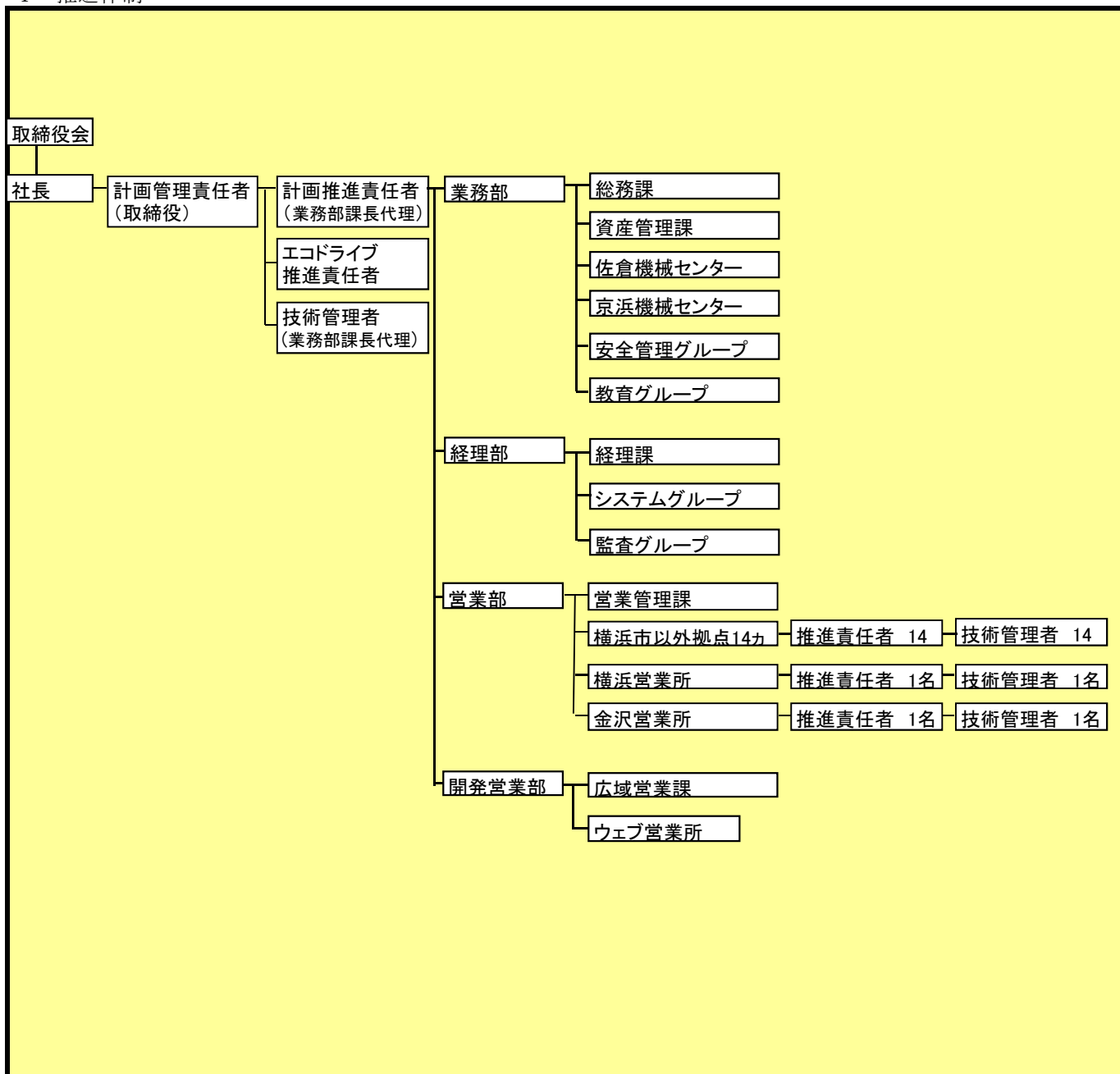
## 2 計画期間及び実施年度

計画期間	平成 25 年度	～	平成 27 年度	実施年度	平成 27 年度
------	----------	---	----------	------	----------

## 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・レンタカーに関しては、古い車両を廃車し、低燃費の車両を導入する。</li><li>・社内使用車に関しては、ドライブレコーダーを十数台導入し、一定期間ごとに別の車両に取り付け、全社員にエコドライブを意識させている。また、毎月ドライブレコーダーの記録をまとめたデータを全社に流し、周知させている。</li><li>・社内使用車を通勤に使うことを原則禁止し、公共交通機関を使うよう徹底させていく。</li><li>・ほぼすべての車両にETCを取り付ける。</li></ul> <p>目標達成のため、以上の対策に取り組んでいく。 他の地域でも同じ取り組みをしていく。</p> <p>【主要なエネルギー使用設備の更新等の検討】</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備</p> <p>②上記①の設備を選択した理由</p> <p>③設備更新スケジュール</p>
---

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	<a href="http://tokyo.jpncat.com/">http://tokyo.jpncat.com/</a>
窓口で閲覧	閲覧場所	
	所在地	
	閲覧可能時間	
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (平成24年度)	基準排出量	605	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	605	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 (平成27年度)	目標排出量	580	t-CO <sub>2</sub>	削減率	4.1 %		削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>・弊社の所有する車両のほとんどはレンタカーの為、エコドライブを徹底することは難しい。ただ、社内使用車に関しては、ドライブレコーダーやカーナビ等の機器を利用して社員にエコドライブを意識させていく。</p> <p>・今後急激に車両台数が増減する予定はない為、一定年数が経った車両を廃車し、燃費の良い車両に買い換えていくことで排出量を削減していく。</p> <p>以上の理由から、目標排出量を設定している。</p>								
事業者全体としての目標等									
第一年度 (平成25年度)	排出量	573	t-CO <sub>2</sub>	削減率	5.3 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	573	t-CO <sub>2</sub>	削減率	5.3 %		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明	<p>古い車両を廃車し、低燃費車を導入することで、排出量を削減することができた。</p> <p>実施した削減策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古い車両を廃車し、低燃費車に買い替えて総台数に対する低燃費車の割合を増やした。</li> <li>ドライブレコーダーを活用し、全社員にエコドライブを意識させた。</li> </ul>								
第二年度 (平成26年度)	排出量	611	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 1.0 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	611	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 1.0 %		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明	<p>古い車両を廃車し、低燃費車の割合を増やすことは出来たものの、個々の走行距離が伸びたことで排出量が増加してしまった。</p> <p>実施した削減策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古い車両を廃車し、低燃費車に買い替えて総台数に対する低燃費車の割合を増やした。</li> <li>ドライブレコーダーを活用し、全社員にエコドライブを意識させた。</li> <li>85台にETCを取り付けた。</li> </ul>								
第三年度 (平成27年度)	排出量	530	t-CO <sub>2</sub>	削減率	12.4 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	530	t-CO <sub>2</sub>	削減率	12.4 %		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明	<p>車両の入替を進めたことや、機器を使ってエコドライブを意識させることで、排出量を削減することができた。</p> <p>実施した削減策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古い車両を廃車し、低燃費車に買い替えて総台数に対する低燃費車の割合を増やした。</li> <li>全ての社内使用車にドライブレコーダーを取り付け、全社員にエコドライブを意識させた。</li> <li>新車は全てETC付のものを購入した。</li> </ul>								
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>毎年定期的に車両の入替をすることで低燃費車の割合が増え、温室効果ガスの排出量の削減に繋がった。</p> <p>又、第二年度には古い車両にETCを取り付け、第三年度には全ての社内使用車にドライブレコーダーを取り付ける等、機器の活用を本格的に始めたことも目標達成の一因と思われる。</p> <p>今後も同様の削減策を進めて、他に出来ることがあれば積極的に挑戦していく。</p>								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
500k1以上 1,500k1未満								
500k1未満								
合計								

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車	81	259	78	238	78	233	87	208
小型貨物自動車	99	344	94	326	95	375	113	322
大型バス	0	0	0	0	0	0	0	0
マイクロバス	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用自動車	1	2	2	5	1	3	1	0
合計	181	605	174	569	174	611	201	530
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)	2.8	%	5.0	%	5.6	%	13.5	%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	平成 年度			/	—	平成 年度				/	—	平成 年度			
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)		/	—	平成 年度			/	—	平成 年度				/	—	平成 年度			
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)		/	—	平成 年度			/	—	平成 年度				/	—	平成 年度			
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)		/	—	平成 年度			/	—	平成 年度				/	—	平成 年度			
	5	エネルギー使用量の把握	個別業対象		/	—	平成 年度			/	—	平成 年度				/	—	平成 年度			
	6	各種図面の整備	個別業対象		/	—	平成 年度			/	—	平成 年度				/	—	平成 年度			
	7	外気導入量の適正管理	個別業対象		/	—	平成 年度			/	—	平成 年度				/	—	平成 年度			
	8	フィルター等の清掃	個別業対象		/	—	平成 年度			/	—	平成 年度				/	—	平成 年度			
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別業対象		/	—	平成 年度			/	—	平成 年度				/	—	平成 年度			
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別業対象		/	—	平成 年度			/	—	平成 年度				/	—	平成 年度			
	11	室内温度の適正管理	事業所		/	—	平成 年度			/	—	平成 年度				/	—	平成 年度			
	12	地下駐車場の換気管理	事業所		/	—	平成 年度			/	—	平成 年度				/	—	平成 年度			
	13	照明設備の高効率化	事業所		/	—	平成 年度			/	—	平成 年度				/	—	平成 年度			
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所		/	—	平成 年度			/	—	平成 年度				/	—	平成 年度			
	15	機器性能管理	設備			/	平成 年度					/	平成 年度				/	平成 年度			
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備			/	平成 年度					/	平成 年度				/	平成 年度			
	17	燃焼設備の空気比管理	設備			/	平成 年度					/	平成 年度				/	平成 年度			
	18	排出ガス温度の管理	設備			/	平成 年度					/	平成 年度				/	平成 年度			
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備			/	平成 年度					/	平成 年度				/	平成 年度			
	20	工業炉表面の断熱強化	設備			/	平成 年度					/	平成 年度				/	平成 年度			
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備			/	平成 年度					/	平成 年度				/	平成 年度			
	22	コンプレッサの吸気管理	設備			/	平成 年度					/	平成 年度				/	平成 年度			

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	/	—	平成 年度			実施済	/	—	平成 年度			実施済	2/2	—	平成 年度	
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	—	/	平成 年度			実施中	—	/	平成 年度			実施中	—	160/201	平成 27 年度	継続中
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	—	/	平成 年度			実施済	—	/	平成 年度			実施済	—	201/201	平成 年度	
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	/	—	平成 年度			実施中	/	—	平成 年度			実施中	0/2	—	平成 27 年度	継続中
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	/	—	平成 年度			実施済	/	—	平成 年度			実施済	2/2	—	平成 年度	

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		平成 年度		
2		平成 年度		
3		平成 年度		
4		平成 年度		
5		平成 年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1		平成 年度			
2		平成 年度			
3		平成 年度			
4		平成 年度			
5		平成 年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	・従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導策等、公共交通機関の利用促進に関する対策
第一年度実績	・従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導策等、公共交通機関の利用促進に関する対策
第二年度実績	・従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導策等、公共交通機関の利用促進に関する対策
第三年度実績	・従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導策等、公共交通機関の利用促進に関する対策

14 実施状況等に対する自己評価

毎年定期的に車両の入替をすることで低燃費車の割合が増え、温室効果ガスの排出量の削減に繋がった。  
又、古い車両にETCを取り付け、社内使用車にドライブレコーダーを取り付ける等、機器の活用を本格的に始めたことも目標達成の一因と思われる。  
今後も同様の削減策を進めて、他に出来ることがあれば積極的に挑戦していく。